

交付運用報告書

J A海外株式ファンド

商品分類（追加型投信／海外／株式）

第18期（決算日：2018年9月18日）

作成対象期間：2017年9月20日～2018年9月18日

| 第18期末（2018年9月18日） | |
|-------------------|---------|
| 基準価額 | 20,373円 |
| 純資産総額 | 501百万円 |
| 第18期 | |
| 騰落率 | 6.4% |
| 分配金合計 | 350円 |

（注）騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

受益者の皆様へ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

「J A海外株式ファンド」はこの度、第18期の決算を行いました。ここに、期中の運用状況等をご報告申し上げます。

この投資信託は、J A海外株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、当社が円ベースに換算したモルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル・コクサイ・インデックス（以下「MSCI KOKUSAI・インデックス」といいます。）を上回る投資成果を目指します。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。右記<照会先>ホームページの「ファンドラインナップ」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「各種資料」より運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

<照会先>

- ホームページアドレス
<http://www.ja-asset.co.jp/>
- お客様専用フリーダイヤル
0120-439-244
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時、
土・日・休日・12月31日～1月3日を除く）



NZAM

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-9

《運用経過》

【当期中の基準価額等の推移について】

(第18期：2017年9月20日～2018年9月18日)



第18期首 : 19,482円
 第18期末 : 20,373円
 (既払分配金 350円)
 騰落率 : 6.4%
 (分配金再投資ベース)

- ・ベンチマークは、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）です。詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。
- ・なお、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）は、MSCI KOKUSAI・インデックス（ドルベース）を基に、(MSCI Inc.の許諾を受けたうえで、当社が独自に円換算したものです。当ファンドの基準価額は組入有価証券の前営業日の時価を基に計算されることから、MSCI KOKUSAI・インデックス（ドルベース）は、前日の値を採用しております（以下同じ）。
- ・ベンチマークは、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

【基準価額の主な変動要因】

基準価額は、期首19,482円で始まり、2月にボラティリティの上昇を伴う急激な調整に見舞われるなど2018年に入り株式市場の動きは不安定になりました。米国の利上げペース加速懸念、地政学的リスクの高まり、世界的な貿易摩擦激化懸念に揺れながらも、堅調な企業業績が株価の下支えとなりました。期末は20,723円（分配金込み）となり、騰落率は6.4%の上昇となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 当期 2017年9月20日 ～2018年9月18日 | | 項目の概要 |
|-----------------------|---------------------------------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信託報酬 | 325 | 1.616 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 投信会社によるファンドの運用の対価 分配・換金・償還金の支払、運用報告書の送付、口座管理等に係る費用 受託会社によるファンド運用財産の保管、管理、運用指図実行等の対価 |
| (投信会社) | (195) | (0.969) | |
| (販売会社) | (108) | (0.539) | |
| (受託会社) | (22) | (0.108) | |
| (b) 売買委託手数料 | 7 | 0.034 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (7) | (0.034) | |
| (c) 有価証券取引税 | 11 | 0.056 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の売買の都度発生する取引に係る税金 |
| (株式) | (11) | (0.056) | |
| (d) その他費用 | 5 | 0.023 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務に係る諸費用 |
| (保管費用) | (4) | (0.019) | |
| (監査費用) | (1) | (0.003) | |
| (その他) | (0) | (0.000) | |
| 合 計 | 348 | 1.729 | |
| 期中の平均基準価額は、20,095円です。 | | | |

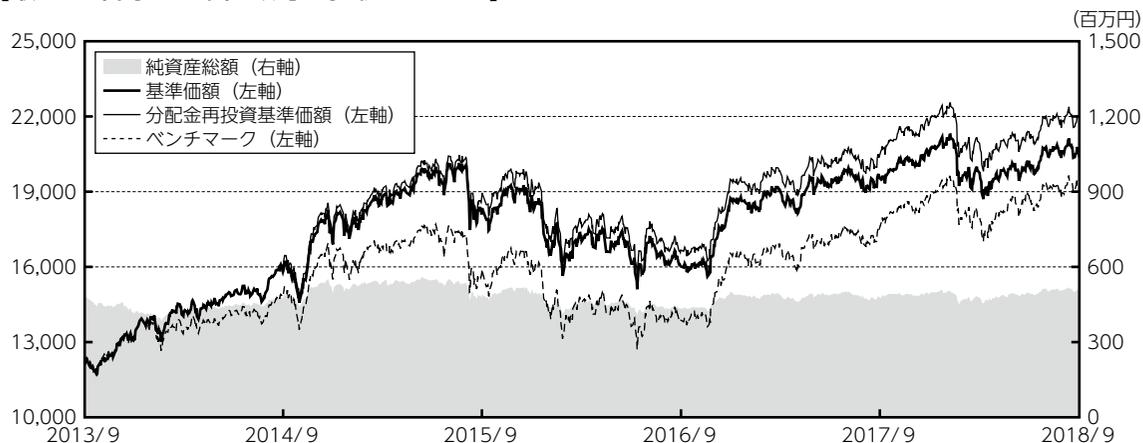
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

【最近5年間の基準価額等の推移について】



- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。また課税条件によっては、騰落率は一律に受益者の収益率を示すものではない点にご留意ください（以下同じ）。
- ・実際のファンドにおいては、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2013年9月17日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

ベンチマークは、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）です。

詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

なお、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）は、MSCI KOKUSAI・インデックス（ドルベース）を基に、MSCI Inc.の許諾を受けたうえで、当社が独自に円換算したものです。当ファンドの基準価額は組入有価証券の前営業日の時価を基に計算されることから、MSCI KOKUSAI・インデックス（ドルベース）は、前日の値を採用しております（以下同じ）。

■最近5年間の年間騰落率

| | 2013/9/17 期首 | 2014/9/16 決算日 | 2015/9/16 決算日 | 2016/9/16 決算日 | 2017/9/19 決算日 | 2018/9/18 決算日 |
|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額（円） | 12,162 | 15,800 | 18,093 | 16,024 | 19,482 | 20,373 |
| 期間分配金合計（税込み）（円） | — | 250 | 310 | 110 | 360 | 350 |
| 分配金再投資基準価額騰落率（%） | — | 32.0 | 16.5 | △10.8 | 23.8 | 6.4 |
| ベンチマーク騰落率（%） | — | 21.8 | 5.9 | △11.5 | 27.9 | 9.2 |
| 純資産総額（百万円） | 465 | 472 | 475 | 433 | 475 | 501 |

（注）ファンド年間騰落率は、分配金がある場合は分配金（税込み）を再投資したものと計算します。実際のファンドにおいては、課税条件によっても異なるため、上記の騰落率は一律に受益者の収益率を示すものではない点にご留意ください。

【投資環境について】

(第18期：2017年9月20日～2018年9月18日)

MSCI KOKUSAI・インデックス（ドルベース）は期首2,000ポイント前半で始まりまして。

期の前半は、欧州の政治的透明感や北朝鮮の核実験を巡る地政学的リスクは意識され続けましたが、世界的に底固い経済指標や堅調な企業業績、原油高を支援に株価は続伸しました。2018年2月に、米国の景気上振れが利上げ加速観測につながり、米金利上昇への警戒から株を手放す動きが世界的に連鎖し、株価は急激な調整に見舞われました。その後も米国の利上げペース加速懸念、地政学的リスクの高まり、世界的な貿易摩擦激化懸念に揺れながらも、5月中旬以降は好調な企業業績を支援に株価は再び上昇基調で推移しました。期の後半には、トルコ発の新興国通貨不安が世界経済の減速や金融市場の混乱につながるとの警戒感から株価は一時軟化しました。その後、期末にかけては米連邦準備理事会（FRB）の緩やかな利上げ持続の表明で買い安心感が広がったものの、米中貿易摩擦への懸念が株価の上値を抑える展開となりました。

結果、MSCI KOKUSAI・インデックス（ドルベース）は2,200ポイント近辺で期末を迎えました。

為替市場では、ドル/円が111円台半ばで始まった後、3月には104円台後半まで円高が進行しましたが、徐々に円安方向に転換し、111円台後半で期末を迎えました。

【ポートフォリオについて】

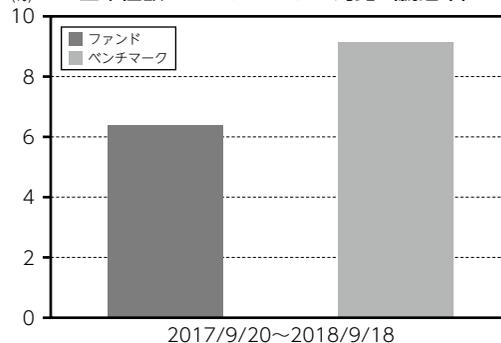
当ファンドは、J A海外株式マザーファンドを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。J A海外株式マザーファンドは日本を除く世界先進各国の株式に積極的に投資し、MSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）を上回る投資成果を目指します。J A海外株式マザーファンドにおける外貨建資産の運用は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに外部委託しています。

当期の運用におきましては、当ファンドは、J A海外株式マザーファンドにほぼ100%投資しました。

【ベンチマークとの差異要因について】

ベンチマークであるMSCI KOKUSAI・インデックス（当社円換算ベース）との比較では、ベンチマーク騰落率+9.2%に対し、ポートフォリオ騰落率は+6.4%であり、2.8%下回りました。J A海外株式マザーファンドにおける、ベンチマーク対比パフォーマンスは-1.0%となっており、当ファンドとマザーファンドとの格差に関しては、信託報酬要因が主因となっております。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

【分配金について】

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たり350円（税込み）とさせていただきます。

なお、収益分配金に充てなかった収益については、信託財産に留保し、元本と同様の運用を行っております。

■分配原資の内訳 (1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第18期 2017年9月20日 ～2018年9月18日 |
|---------------|-----------------------------------|
| 当期分配金 (円) | 350 |
| (対基準価額比率：%) | 1.689 |
| 当期の収益 (円) | 350 |
| 当期の収益以外 (円) | － |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 13,030 |

- (注1) 「対基準価額比率」は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- (注2) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- (注3) 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- (注4) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

税引き後の分配金は、決算日の基準価額に基づいて、自動的に無手数料で再投資いたしました。

《今後の運用方針》

世界経済の成長はわずかに鈍化しているものの、見通しは十分に堅調で、インフレ率と金利の上昇に加え、通商リスクがあるなかで、適度な市場リターンを予想しています。インフレを要因とする金利の急騰はリスクですが、基本シナリオではありません。世界的な貿易摩擦の激化と、多くの国で台頭しているポピュリズムは、経済を不安定にしかねないと見て注視しています。

こうした投資環境見通しの下、当ポートフォリオは、世界中の株式を投資対象としてトータル・リターンの最大化を追求することを投資目的とします。株価市場指数からパフォーマンスが乖離するリスクより、キャピタル・ロスのリスクを重視する運用を行います。引き続きファンダメンタルズ調査と定量分析を組み合わせたプロセスにより、質が高くバリュエーションの魅力的な銘柄を重視した銘柄選択に注力します。

《お知らせ》

当ファンドが組み入れている、ＪＡ海外株式マザーファンドにおいて、以下の通り約款変更を行いました。

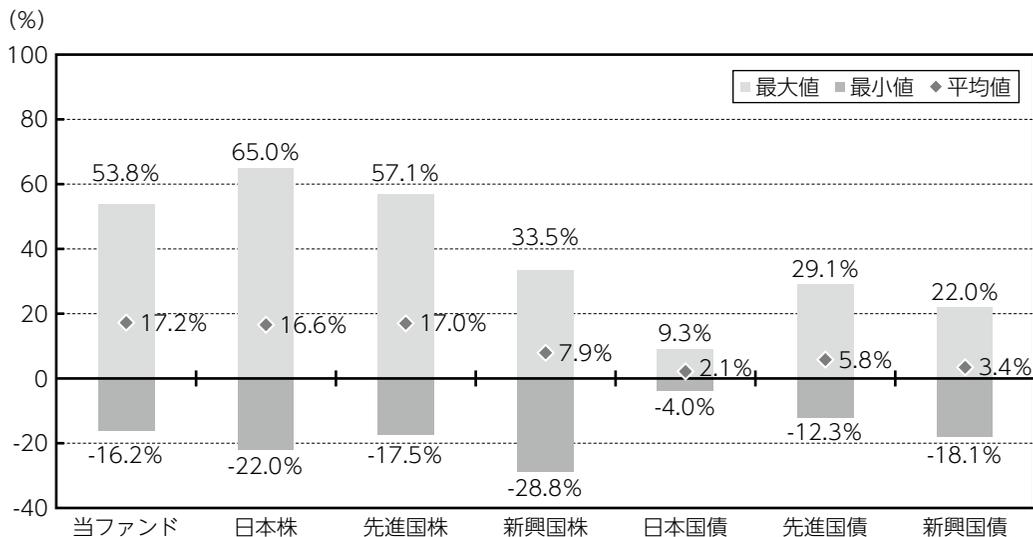
「信用リスク集中回避のための投資制限規定追加に係る約款変更について」
一般社団法人投資信託協会の協会規則「投資信託等の運用に関する規則」の改正に対応するため、投資信託約款に所要の変更を行い、2018年3月15日付で実施いたしました。

「追加信託金の基準価額適用日の変更に係る約款変更について」
運用効率の向上を図り、受益者の利益に資するため、投資信託約款に所要の変更を行い、2018年3月15日付で実施いたしました。

《当ファンドの概要》

| | | |
|--------|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 | |
| 信託期間 | 無期限 | |
| 運用方針 | この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | ＪＡ海外株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、日本を除く世界先進各国の株式に直接投資する場合があります。 |
| | マザーファンド | 日本を除く世界先進各国の株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | <p>ＪＡ海外株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、当社が円ベースに換算したMSCI KOKUSAI・インデックスを上回る投資成果を目指します。主要投資対象であるＪＡ海外株式マザーファンドの運用にあたりましては、主にMSCI KOKUSAI・インデックスに採用されている世界先進各国（日本を除く）の株式に積極的に投資を行うことにより、当社が円ベースに換算したMSCI KOKUSAI・インデックスに対しての超過収益の獲得に努めます。ＪＡ海外株式マザーファンドの運用につきましては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。</p> <p>ＪＡ海外株式マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</p> | |
| 分配方針 | <p>毎年9月16日（休業日の場合は翌営業日）に諸経費等を控除後の利子・配当収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>※当ファンドは分配金再投資（累積投資）専用です。税引き後の分配金は、自動的に無手数料で再投資されます。</p> | |

《当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較》



* 2013年9月から2018年8月の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

* 当ファンドの年間騰落率は、分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

* 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（税引前配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス（円ベース）

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

* 騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

《当該投資信託のデータ》

(2018年9月18日現在)

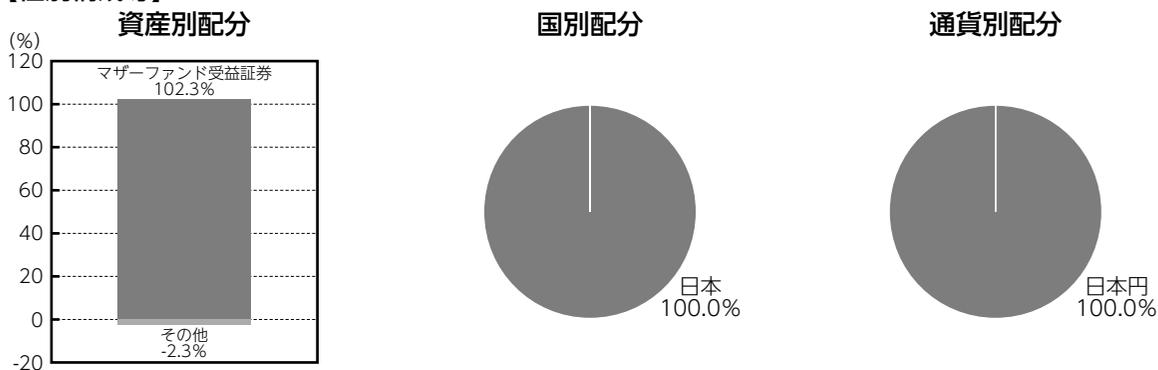
【組入ファンド等】

| | 第18期末 |
|-----------------|------------|
| | 2018年9月18日 |
| J A 海外株式マザーファンド | 102.3 % |
| コール・ローン等、その他 | △2.3 |

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【種別構成等】



(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。「その他」は現金、コール・ローン等です。

【純資産等】

| 項 目 | 第18期末 |
|--------------------|--------------|
| | 2018年9月18日 |
| 純 資 産 総 額 | 501,236,832円 |
| 受 益 権 総 口 数 | 246,026,117口 |
| 1 万 口 当 たり 基 準 価 額 | 20,373円 |

(注) 期中における追加設定元本額は38,579,056円、同解約元本額は36,571,558円です。

《組入上位ファンドの概要》

○ J A海外株式マザーファンド

(計算期間：2017年9月20日～2018年9月18日)

【基準価額の推移】



【組入上位10銘柄】

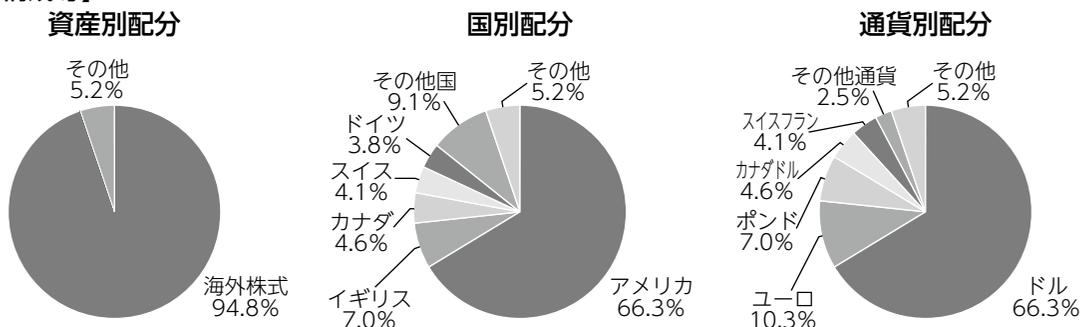
組入銘柄総数：106銘柄

| | 銘柄名 | 業種 | 比率 (%) |
|----|-----------------------------|------------------------|--------|
| 1 | BRISTOL-MYERS SQUIBB CO | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 3.4 |
| 2 | NOVARTIS AG-REG | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 3.3 |
| 3 | UNITEDHEALTH GROUP INC | ヘルスケア機器・サービス | 3.3 |
| 4 | ALPHABET INC-CL A | ソフトウェア・サービス | 3.2 |
| 5 | IMPERIAL BRANDS PLC | 食品・飲料・タバコ | 3.1 |
| 6 | ALTRIA GROUP INC | 食品・飲料・タバコ | 2.9 |
| 7 | EXELON CORP | 公益事業 | 2.9 |
| 8 | UNIVERSAL HEALTH SERVICES-B | ヘルスケア機器・サービス | 2.7 |
| 9 | ELI LILLY & CO | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 2.6 |
| 10 | COMCAST CORP-CL A | メディア | 2.5 |

【1万口当たりの費用明細】

| 項目 | 当期 |
|------------------------------|-----------------|
| (a) 売買委託手数料 (株式) | 10円 (10) |
| (b) 有価証券取引税 (株式) | 16 (16) |
| (c) その他費用 (保管費用) (その他) | 5 (5) (0) |
| 合計 | 31 |

【種別構成等】



- * 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2018年9月18日現在のものです。
- * 1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。項目の概要及び注記については、2ページをご参照ください。
- * 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。「その他」は現金、コール・ローン等です。
- * 当マザーファンドの計算期間における詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

《指数に関して》

■ 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」 に用いた指数について

・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）の商標又は標章に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、㈱東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、㈱東京証券取引所は、本件商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

・MSCI コクサイ・インデックス

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

・MSCI エマージング・マーケット・インデックス

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

・NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

・FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）はFTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

・FTSE新興国市場国債インデックス

FTSE新興国市場国債インデックスはFTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。